

「はたちの献血キャンペーン」 (1/1 ~ 2/28) に因んで

沖縄県赤十字血液センター所長 大久保 和明



沖縄県医師会会員の皆様には、日頃より血液製剤の適正使用に関してご協力頂いておりますことを感謝申し上げます。今回は「はたちの献血キャンペーン」に因んでということで、現在の血液事業、特に若年者の献血についてご報告し、ご協力・ご指導を賜りたいと思います。

はたちの献血キャンペーン（主催：厚生労働省・都道府県・日本赤十字社）は、献血者が減少する冬期の輸血用血液を確保し、医療機関へ安定的に供給するために、特に成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている方を含めた若年層の方々を中心に、広く国民に献血への理解と協力を求めることを目的としている献血推進キャンペーンであり、1月1日から2月末日までの2ヵ月間、全国で展開するものです。

私共が担っている血液事業は国の重要な事業の一つで、平成15年7月に施行された「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に基づいて、国、地方公共団体、採血事業者、製造販売業者および医療関係者が、それぞれの責務を果たしつつ、安全性の向上、国内自給の原則、安定供給の確保、適正使用の推進、公正の確保および透明性の向上といった法の基本理念の実現に向けた取り組みを進めることとされています。

しかしながら、近年、少子高齢化が進み、医療現場での血液需要が増加しているのにもかかわらず、献血者、特に10代、20代の若年層による献血が減少傾向にあります。(図1)

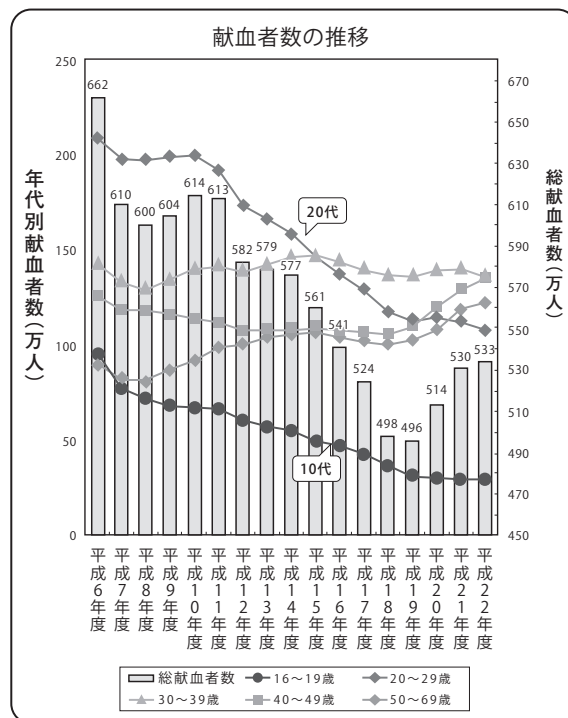


図1

日本赤十字社が実施した血液需給将来推計シミュレーションでは、現在の献血率（献血可能人口の献血率5.9%）のまま少子高齢社会が進展すると、血液需要がピークを迎える15年後の平成39年(2027年)には、献血者約101万人分の血液が不足することが示されました。(図2)

日本赤十字社としても若年層に対する献血推進対策を今年度の血液事業の大きな取り組みとして進めているところであります。

私共としては、医療機関へ安定的に血液製剤を供給するためには、まずは、若者をはじめとした県民のみなさんに「献血」を知っていただくことが大切だと考えております。

全くの善意で献血においでいただく方々からは、自分たちの血液がどのように使われているのかを知りたいというご意見もあります。私達は、輸血を受けられた患者さんの感謝の気持ちを、献血者をはじめ県民の方々に伝えることも必要だと感じております。そうすることによって「献血」の大切さを知っていただくことになるのだと思っています。

しかしながら、病気や外傷で病院を受診し治療を受けた患者さんやご家族は、治療の過程で輸血を受けたことをあまり認識していないことがあります。特に手術中に受けた輸血についてはほとんど記憶にありません。それがいかに重要であったかということについてはなおさら主治医からのお話がない限り分っていないことが多いように思います。

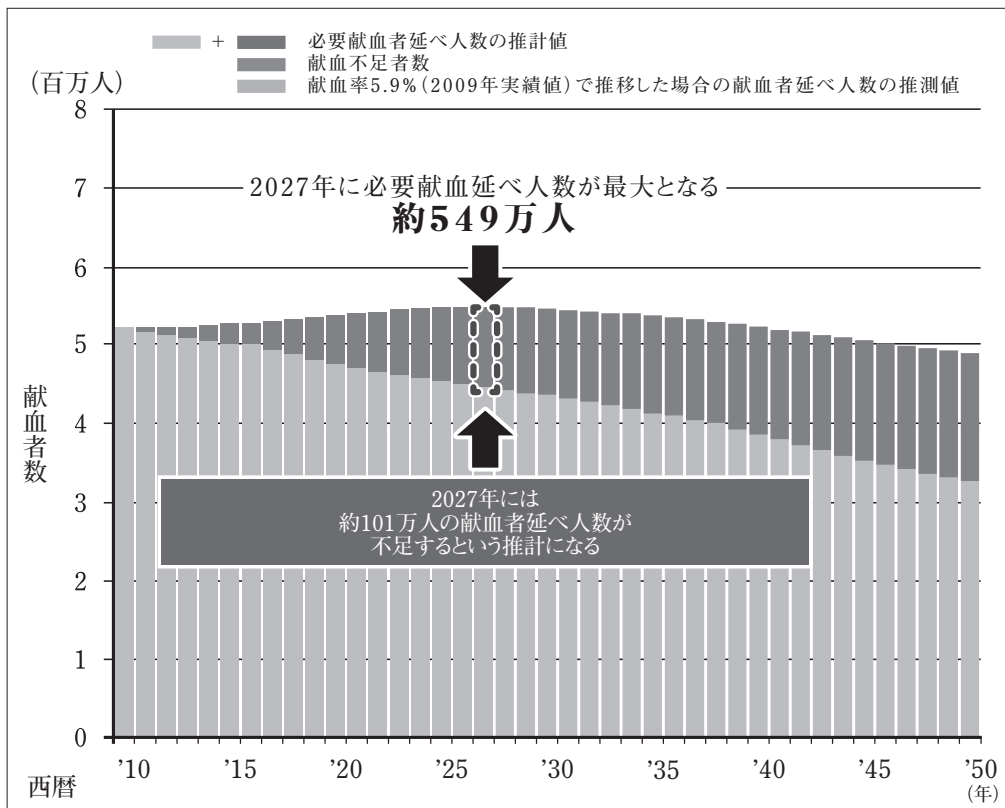
先生方にご協力お願いしたいことは、輸血が

治療の大切な一部であったことを患者、家族にそれとなくお伝えいただきたいということがあります。今後、患者さんの声をお聞かせいただくことが出来るようになるには必要なことだと考えています。

日本赤十字社では「はたちの献血キャンペーン」サイトを設けております。多くの若者にこのサイト (<http://ken-love.jp/hatachi/>) をご覧いただき“なにかしたい”と感じていただけたなら、ご家族、お友達に広めてください。あなたのその行動が(血液を必要としている患者さんの)命を繋ぎます。と、お願いしております。

沖縄県医師会の皆様には今後とも血液事業に対すご指導、ご協力をお願い申し上げます。

献血の需要と供給の推移



東京都福祉保健局がまとめた2007年輸血状況調査結果と、将来推計人口を用いて将来の輸血用血液製剤の供給予測数を算出し、供給に必要な献血者数を算出すると、2027年には約549万人必要となるシミュレーションになる。また、2009年の献血率(=献血者延べ人数/献血可能人口)5.9%を今後も維持すると仮定し、将来推計人口により、仮定の献血者延べ人数を算出すると、2027年には、約101万人不足するというシミュレーションになる。

図 2

沖縄県医師会館利用のご案内

フロアガイド

<p>2F</p> <p>●会議室1～4</p> <table border="1"> <tr> <td>会議室1・2</td> <td>S=42席</td> <td>T=64席</td> <td>□=35席</td> </tr> <tr> <td>会議室3・4</td> <td>S=36席</td> <td>T=54席</td> <td>□=30席</td> </tr> </table> <p>機能的に各種会議が開催できるよう 4つの会議室(40～60名)を備えています。</p> <p>各部屋とも小規模な研修会や委員会等(会議)が開催できるようスクリーンを設置し、必要に応じて音響への対応も可能となっております。</p>	会議室1・2	S=42席	T=64席	□=35席	会議室3・4	S=36席	T=54席	□=30席	<p>3F</p> <p>●ホール (S=144席 T=234席)</p> <p>研修会、講演会などを行うホールを 完備しています。</p> <p>最大240名収容のホールを完備。仮設舞台や音響設備をはじめ、講師控室やラウンジなども設置しておりますので、スムーズな運営が可能です。</p>
会議室1・2	S=42席	T=64席	□=35席						
会議室3・4	S=36席	T=54席	□=30席						

(S=スクール、T=シアター、□=□の字)

アクセス



会館利用に関する問い合わせ

沖縄県医師会事務局 経理課 (城間)
〒901-1105 沖縄県南風原町字新川218-9
TEL:098-888-0087/FAX:098-888-0089

